

【様式8】システム機能要件一覧

御社パッケージの各業務への対応状況について「対応度」欄に、○・△・×のいずれかを記入してください。（必要に応じて「備考」欄も記入）

【必要性】 A（必須）：実現が必須であり欠かせない
B（重要）：実現が重要である
C（要望）：実現が望ましい

【対応度】 ○：標準的機能で対応可能。
△：カスタマイズで対応可能（「備考」欄にカスタマイズの内容を明記する）。
×：対応不可能（代替案や運用回避が可能な場合は、「備考」欄に内容を記載する）。

No.	大分類	中分類	機能要件	必要性	対応度	備考
1	システム機能全般	DV等の特記情報	対象者のDV等の特記情報が管理できること。	A		
2	システム機能全般	DV等の特記情報	DV等の特記情報が登録されている対象者照会画面を表示した際に、明示的な警告ポップアップ等を表示できること。	A		
3	システム機能全般	口座情報管理機能	支払方法の設定を行うことができること。※納付書or口座振替等	A		
4	システム機能全般	口座情報管理機能	金融機関コードと名称を登録することができること。	A		
5	システム機能全般	口座情報管理機能	対象者の口座情報（金融機関コード、預金区分、口座番号、預金者氏名）の登録、変更、削除ができること。（ゆうちょ銀行にも対応できること）	A		
6	システム機能全般	操作性	利用者が画面から閲覧できるマニュアルやヘルプ機能があること。	C		
7	システム機能全般	送付先変更	対象者情報の現住所とは別に送付先を設定できること。	A		
8	システム機能全般	通知書文章	システムから出力する通知書の文章を担当者で変更できること。	C		
9	システム機能全般	納期限	納期限を一元管理できること。納期限に変更が発生した場合にまとめて更新できること。	B		
10	システム機能全般	ログイン機能	利用者のパスワードは定期的に変更できること。	C		
11	システム機能全般	ログ管理	本システムへのログインからログアウトまでの全ての操作について、時刻・利用者ID等を使用した機能及び操作対象となったデータを含むアクセスログを取得し、管理できること。	A		
12	システム機能全般	学校情報	学校（給食センター）情報を管理できること。 学校・学年別に喫食日数を管理して、児童生徒の喫食日数に自動で反映できること。	A		
13	システム機能全般	基本機能	画面表示・出力帳票は、学校名、学年・クラス順・教職員等の出力を基本とすること。	A		
14	システム機能全般	基本機能	システムから出力されるファイルは、別事務にも汎用的に利用可能なCSVデータファイル又はExcelファイル（以下、CSVデータ等）での出力機能を有すること。	A		
15	システム機能全般	基本機能	電子公印に対応していること。	A		

No.	大分類	中分類	機能要件	必要性	対応度	備考
16	システム機能全般	進級処理機能	学年の更新、卒業学年の卒業処理機能があること。	A		
17	システム機能全般	対象者管理機能	対象者情報（氏名、性別、生年月日、個人コード等）の登録、修正、削除ができること。※一括処理含む	A		
18	システム機能全般	対象者管理機能	対象者情報の入力に当たり、CSV データ等の取り込みによる登録ができること。	A		
19	システム機能全般	対象者管理機能	取り込むCSV データ等の形式（項目名・順列等）については、市が事前に指定（ユーザー設定）ができること。	A		
20	システム機能全般	対象者管理機能	給食費の減免要件を登録できること。	A		
21	システム機能全般	対象者管理機能	市内の転校、市内の異動については同一人物として管理できること。※宛名コード等で識別	A		
22	システム機能全般	対象者管理機能	市内の転校、市内の異動については転校前後、又は異動前後の学校履歴が確認ができること。	A		
23	システム機能全般	対象者管理機能	基本情報にメモ機能又は備考の設定ができること。	A		
24	システム機能全般	対象者管理機能	牛乳停止者等の属性フラグ毎の抽出、一覧表示ができること。	A		
25	システム機能全般	対象者管理機能	兄弟・姉妹等がいる場合、まとめて世帯情報として対象者情報を確認・管理できること。	C		
26	システム機能全般	対象者管理機能	喫食登録のため必要書類の提出状況を管理できること。	C		
27	システム機能全般	対象者管理機能	対象者に対する折衝内容を登録することができること。 又督促状・催告書を出した場合は自動的に折衝記録に記録されること。	C		
28	システム機能全般	入力機能	検索方法及び照会は、宛名番号、名称(氏名・ふりがな含む)、生年月日、住所等により複数設定が可能であること。なお、名称についてはあいまい検索が可能であること。	A		
29	システム機能全般	入力機能	入力必須項目が入力されていない場合、及び不適切なデータが入力された場合には、ユーザに警告ポップアップ表示を有すること。（次処理に展開できないような制限機能があること）	B		
30	システム機能全般	入力機能	入力項目のうち入力必須項目については、入力必須である事を視覚的（色など）に認識する形式で表示すること。	B		
31	システム機能全般	入力機能	簡易な入力を実現するため、画面上でコピーアンドペースト機能（又はパターン登録）を用いた入力機能を有すること。	B		
32	システム機能全般	入力機能	日付の選択はカレンダーによる選択入力も可能であること。	B		
33	システム機能全般	利用者管理機能	システムへの同時ログイン可能な人数が最大10ユーザーが可能であること。	B		
34	システム機能全般	利用者管理機能	給食センター職員の利用者ごとに利用できる権限、機能を設定できること。	B		
35	喫食情報	喫食者情報管理	喫食者のアレルギー情報を管理できること。	B		
36	喫食情報	喫食数管理	学校、学年、個人単位での給食実績（喫食・欠食）の食数情報が登録できること。	A		

No.	大分類	中分類	機能要件	必要性	対応度	備考
37	喫食情報	喫食数管理	当初登録状態では喫食で一括登録しておき、欠食の対象者のみ食数情報を更新できること。	A		
38	喫食情報	喫食数管理	試食会等の団体での喫食の場合、代表者名で複数人数分の食数入力ができること。※住登外登録などで	A		
39	喫食情報	喫食数管理	ALT（外国語指導助手）等給食の配膳場所が複数の場合（小・中学校間も含む。）でも、同一人物として（喫食累計し）その給食費の管理が可能であること。	A		
40	喫食情報	喫食数管理	給食実施日や喫食者ごとの喫食数は、カレンダー形式で管理し、年度・月・日単位で登録できること。	C		
41	喫食情報	喫食数管理	学校別・学年別・クラス別又は市全体で月間及び年間の給食予定回数及び給食実施回数を一覧として表示・出力することができること。	C		
42	喫食情報	停止・再開	長期欠席等による給食停止、給食再開の登録に対応できること。	A		
43	徴収管理	還付・充当	充当元と充当先の調定情報を記載した通知書を出力できること。	A		
44	徴収管理	還付・充当	過誤納金を還付金として管理でき、未納がある場合は、還付額を充当できること。	B		
45	徴収管理	還付・充当	還付を行うため、還付情報を出力できること。 （例）◆月分の中学校6200円の徴収をしたが、後日、転出していたことが分かり、◆月分の6200円を還付するためのリスト等を出力する	B		
46	徴収管理	還付・充当	還付振込依頼データ作成時などに、振込依頼件数・合計金額などの集計情報を出力できること。	B		
47	徴収管理	還付・充当	学校、学年、学級の一覧に対して、一括で還付額を入力できること。 （例）インフルエンザによる学年閉鎖等により、給食提供数が減となり、食数単価請求のところが誤って月額請求により口座振替し、該当学年に一括還付を行う場合	C		
48	徴収管理	交渉情報管理	未納金回収のために行った交渉（入金約束、分割納付・備考等）情報を履歴登録、管理できること。	A		
49	徴収管理	時効管理	時効起算日、時効中断日、時効完成日を管理できること。	C		
50	徴収管理	就学援助費等受給者管理	要保護者の情報を管理できること。	A		
51	徴収管理	就学援助費等受給者管理	準要保護者の情報を管理できること。	A		
52	徴収管理	就学援助費等受給者管理	要保護者・準要保護者受給者等の情報を外部媒体（又はCSV等）での受け渡しによる取込ができること。	A		
53	徴収管理	就学援助費等受給者管理	要保護者・準要保護者・特別支援教育就学奨励費受給者の一覧（学校別・学年別・クラス別）を出力できること。	A		
54	徴収管理	就学援助費等受給者管理	要保護者については、受給期間中、本人に対して給食費を請求しないよう管理できること。	A		
55	徴収管理	就学援助費等受給者管理	準要保護者については、受給期間中、本人に対して給食費を請求しないよう管理できること。	A		
56	徴収管理	就学援助費等受給者管理	要保護者については、本市担当課に提出する給食費の請求データを作成し、その一覧を出力できること。	B		
57	徴収管理	就学援助費等受給者管理	準要保護者については、本市担当課に提出する給食費の請求データを作成し、その一覧を出力できること。	B		

No.	大分類	中分類	機能要件	必要性	対応度	備考
58	徴収管理	就学援助費等受給者管理	未納部分について、児童手当、就学援助費等をCSVデータ等による取込で充当できること。	B		
59	徴収管理	請求管理	徴収額（歳入）は費目ごとに作成でき、学校給食費、補助金、その他補助金など複数費目をユーザー作成・登録できること。 （例）児童（小学生）5500円の給食費のうち、5200円は国補助金、300円は保護者（学校給食費）から徴収したことがわかるように登録し、画面で確認可能 （例2）生徒（中学生）6200円の給食費のうち、5200円は国補助金、1000円は市補助金（その他補助金）のため保護者負担なし、中学校の教職員は6200円（学校給食費）から徴収したことがわかるように登録し、個別の画面で確認可能	A		
60	徴収管理	請求管理	口座振替又は給食費（歳入）を入力するに当たり、 ・口座振替は全銀協フォーマットでの取込、消込が可能なこと。 ・給食費（歳入）の消込データが市指定のフォーマットで取込消込が可能なこと。	A		
61	徴収管理	請求管理	給食費を一括設定した徴収計画と異なる金額を設定したい場合は、個人単位に修正ができること。	A		
62	徴収管理	請求管理	給食費の喫食管理とは別に毎月定額徴収に対応でき、年度末に精算が可能であること。	A		
63	徴収管理	請求管理	児童生徒、教職員等の単位で精算できること。	A		
64	徴収管理	請求管理	請求額について、個人・学校等の単位で一覧として表示またはデータの抽出・出力ができること。	A		
65	徴収管理	請求管理	未納者の滞納金額を算定し、その額を通知書へ反映できる機能を有すること。	A		
66	徴収管理	請求管理	定額徴収の場合は、学校区分ごと、学年ごとに定額の金額を設定できること。	B		
67	徴収管理	請求管理	アレルギー情報や減免要件等をもとに、給食費の減額自動計算ができること。	B		
68	徴収管理	請求管理	入力の省力化のため、徴収額のパターンを複数設定し一括設定ができること。	C		
69	徴収管理	入金管理	個人毎又は世帯毎（できれば世帯中心が望ましい）に給食費の現年+過去の徴収状況（請求額、入金額、未納額、還付額）を閲覧・出力できること。	B		
70	徴収管理	納付書処理	納付書払い対象者を抽出し、納付書を出力できること。	A		
71	徴収管理	納付書処理	消込結果の確認及び取り消しを行うことができること。	A		
72	徴収管理	納付書処理	納付書は指定した請求月ごとに作成できること。また、複数月分をまとめて作成することもできること。	B		
73	徴収管理	納付書処理	納付書を随時発行する場合は、調定方法の設定に関わらず（口座振替の設定であっても）納付書を作成できること。	B		
74	徴収管理	納付書処理	納入通知書等による入金データを取り込み、システムに反映できること。	B		
75	徴収管理	納付書処理	納入通知書等による徴収結果はバーコードによっても消込登録できること。	B		
76	徴収管理	納付書処理	コンビニ収納や電子収納に対応できること。	B		
77	徴収管理	納付書処理	納付書の発行履歴を確認することができること。（金額変更、再発行時など）	B		

No.	大分類	中分類	機能要件	必要性	対応度	備考
78	徴収管理	納付書処理	徴収予定額に関わらず、任意の金額に応じた納付書の発行が行えること。	C		
79	徴収管理	分納管理	未納者について、任意に分納額を設定できること。	C		
80	徴収管理	分納管理	設定した分納額を、分納計画として記録、出力できること。	C		
81	徴収管理	□座振替機能	金融機関ごとに振替依頼データファイルを出力できること。	A		
82	徴収管理	□座振替機能	出力した振替依頼データファイル名を任意に設定できること。	A		
83	徴収管理	□座振替機能	教職員についても、児童生徒と同様の徴収ができること。	A		
84	徴収管理	□座振替機能	□座振替の複数期をまとめて引き落とす（2カ月に1回、3カ月に1回等）／別々に引き落とすといった選択ができること。	B		
85	徴収管理	□座振替機能	振替不能となった対象者の徴収期に対して、督促対応が可能であること。または、（振替不能となった翌月などの）再振替対応が可能であること。	B		
86	徴収管理	□座振替機能	金融機関からの□座振替結果のデータ取込を行い、消込処理を一括処理等することができること。	B		
87	徴収管理	□座振替機能	金融機関宛に提出する振替日、振替件数、振替金額を記載した依頼票を出力できること。	C		
88	異動管理	異動管理及び学校給食費納入決定通知書	対象者の住民登録上の（任意の）異動日より、集計し、一覧にできること。 ※N○107及びN○108の年間一括処理とは違い、日計や週計など随時処理によるもの	B		
89	学校給食費決算管理	決算機能	給食費（歳入・歳出額）について、決算が行える集計機能が備わっていること。	B		
90	学校給食費未納管理	未納管理・繰越管理機能	各対象者の現年度残金（未収金額）を翌年度の会計年度中に処理が可能であること。また、出納閉鎖期間後は過年度未収金として処理が可能であること。 （例）本市の場合、出納閉鎖期間が次年度5月末までとなるため、令和8年3月末未収金の処理を令和8年5月中に消込処理をする場合も考えられる。	C		
91	学校給食費未納管理	未納管理・繰越管理機能	前年度からの未収金額を含めた収支管理を行えること。	C		
92	帳票	□座振替の通知	□座振替対象者に□座振替の振替日を通知する通知書を出力できること。	C		
93	帳票	債権管理台帳	債務者の個人情報や発生概要等、市が指定する項目について一覧表として抽出・出力できること。	C		
94	帳票	催告状	長期にわたって滞納されている児童生徒の保護者に対して、催告状が作成できること。	B		
95	帳票	再督促・再振替のお知らせ	1回目（2回目以降も）の督促通知を送り、期限までに振込が確認できない、又は再振替ができなかった児童生徒の保護者に対して、再督促又は再振替のお知らせ通知が作成できること。	B		
96	帳票	時効	5年以内（年数はユーザー設定可）に時効を迎える対象者（私債権）を抽出し、EUC機能などで出力できること。	B		
97	帳票	就学援助費等からの差し引きのお知らせ通知	特別支援教育就学奨励費等から差し引きが行われた月に、対象者に対して、金額、対象会計等の記載がある文書が作成できること。	B		
98	帳票	就学援助費の差し引き承諾者リスト	特別支援教育就学奨励費差し引きを承諾した児童生徒のリストが作成できること。	B		

No.	大分類	中分類	機能要件	必要性	対応度	備考
99	帳票	就学援助費差し引き依頼者リスト	特別支援教育就学奨励費差し引きを行う児童生徒、保護者の名前、月、金額のリストが作成できること。	B		
100	帳票	徴収額の通知	児童の4月～3月の徴収額を通知する通知書を出力できること。 また、徴収額が変更された場合に徴収額変更の通知書を出力できること。	A		
101	帳票	督促通知	未納になっている児童生徒の保護者に対して、督促通知（一覧表含む）が出力できること。	A		
102	帳票	督促通知	納付書払い対象者の納期限が過ぎたら、一括して督促対象者及び通知が出力できること。	B		
103	帳票	督促通知	督促通知の記載内容（項目）は学校、学年、学級、個人等、ユーザーが任意に設定できること。	B		
104	帳票	分納	任意に設定した分納額及び納期限で、納付書を作成・出力できること。	B		
105	帳票	分納	分納誓約書を出力できること。	B		
106	帳票	学校給食費納入（精算額決定）通知書	各年度当初、転入時及び変更時に、児童生徒個別の内容で作成できること。	B		
107	帳票	学校給食費納入（精算額決定）通知書	年度終了時、転出時に、児童生徒個別の内容で作成できること。	B		
108	帳票	還付通知	還付対象者及び通知が出力できること。	C		
109	帳票	還付通知	還付通知の記載内容（項目）は学校、学年、学級、個人等、ユーザーが任意に設定できること。	C		
110	帳票	還付通知	還付通知は必要に応じて個人別に出力できること。（記名あり）	C		
111	帳票	還付対象者・還付額一覧	還付対象者及び還付額の一覧が出力できること。出力順は、学年・クラス順であること。	C		
112	帳票	□座振替処理結果集計表	□座振替の処理結果における収納額・未納額及び件数が、学校ごとに集計され出力できること。	B		
113	帳票	□座振替処理結果情報一覧	□座振替の処理結果情報が学年・クラス順に児童・生徒氏名と結びつき出力でき、クラスごとに件数・金額が集計されること。	C		
114	帳票	□座振替処理結果未納者情報一覧	□座振替の処理結果未納者情報が学年・クラス順に児童・生徒氏名と結びつき出力でき、クラスごとに件数・金額が集計されること。その際、要保護、準要保護対象者は除外できること。	C		
115	帳票	□座振替対象者情報一覧	□座振替の対象者情報が学年・クラス順に出力でき、児童・生徒氏名と結びついた帳票による確認ができること。	A		
116	帳票	□座設定一覧	□座設定情報の設定一覧が出力できること。	B		
117	帳票	児童手当からの差し引きのお知らせ（通知）	児童手当から給食費の差し引きが行われた月に、対象者に対して、金額、対象会計等の記載がある通知が作成できること。また、一覧を出力できること。	B		
118	帳票	児童手当差し引き依頼者リスト	児童手当差し引きを行う児童生徒、保護者の名前、月、金額のリストが作成できること。	B		
119	帳票	児童手当差し引き承諾者リスト	児童手当差し引きを承諾した児童生徒のリストが作成できること。	B		
120	帳票	対象者一覧	対象者ごとに登録された各情報を一覧出力が可能であること。	B		
121	帳票	対象者個人台帳	台帳は、年間調定額・収納状況(収納日を含む。)の出力が月ごとに区分され確認できること。	B		

No.	大分類	中分類	機能要件	必要性	対応度	備考
122	帳票	年度計画書（給食費）	年間の納入予定額がシステム内の学校、学年別などに計算された帳票が出力できること。	C		
123	帳票	納付者一覧(年間)	口座振替の結果(収納日を含む)が一覧で月ごとの徴収明細が表示された状態で、クラス別・個人別に出力できること。クラス別に出力され、集計額も算定されていること。	C		
124	帳票	納付状況集計表	収納額・未納額及び件数が学校別のほか、学年・クラスごと集計され出力できること。	B		
125	帳票	未納者一覧(年間)	口座振替の結果が一覧で、未納期別が表示され出力できること。出力は、学年・クラス順に出力され、集計可能であること。	C		
126	データ連携	学齢簿	富士通製「MICJET MISALIO」（市現行システム）レイアウトで就学事務（学齢簿編製等）の学校・学年情報等の取り込みができること。	A		
127	データ連携	就学援助	富士通製「MICJET MISALIO」（市現行システム）レイアウトで標準仕様の就学事務（就学援助）の準要保護情報の取り込みができること。	A		
128	データ連携	住民記録	富士通製「MICJET MISALIO」（市現行システム）レイアウトで住民基本台帳の宛名情報の取り込みができること。	A		
129	データ連携	住民記録	富士通製「MICJET MISALIO」（市現行システム）レイアウトで取り込んだDV情報（支援措置対象者情報）を元に、対象者が画面表示された際に視覚的にわかるよう警告表示又はポップアップ表示ができること。	A		